

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜間想定避難訓練における気づきで非常口や廊下から側の出入り口の所に段差があり車イスの利用者様の避難誘導が難しかった	段差のある出入り口にスロープを設置する	本社に連絡を入れてスロープの設置をお願いする (すでに測定に来て頂き準備を進めている)	3ヶ月
2	49	外出の機会が少ない 外に出ること事態が少なくなっている	車イスの利用者様が多くなってきているが外気にふれる機会を増やしていきたい	全員での外出は無理になって来たが少人数別に分けてのドライブや利用者様の誕生日月に担当者との外食などを取り入れていく 昼食をお弁当にして外で遠足風にして食べるなど工夫していきたい	12ヶ月
3	34	90歳以上の高齢者が多くなっている 急変時や事故発生時の対応	利用者様の変化に職員全員が落ち着いて慌てることなく対処できるようにしていく	緊急時の連絡網などマニュアルを徹底していく 利用者様の日々の健康状態を把握し変化に早期対応していく ご家族とは常に話し合いをもち今後の方針を共有していく	6ヶ月
4		利用者様たちと職員間だけの関係性が強く外部の人たちとの交流が少ない	社会資源を多く取り入れ活用していく	中学・高校生の体験学習の受け入れや福祉活動に興味のある地域の方々にボランティアの協力をお願いしていく 保育園や幼稚園にも声掛けをして協力を仰いでいきたい	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。